



## 火山都市国際会議 島原大会 事務局

〒855-0879 長崎県島原市平成町 1-1

雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)内

TEL:0957-65-5540 FAX:0957-65-5542

MAIL: [cov5@city.shimabara.lg.jp](mailto:cov5@city.shimabara.lg.jp)

URL:<http://www.citiesonvolcanoes5.com/>

# Shimabara 2007

## CITIES ON VOLCANOES 5

NEWS RELEASE

2007年(平成19年)4月3日

### 火山都市国際会議島原大会ピンバッジを作成しました。

- 火山都市国際会議事務局では、本年11月19~23日に長崎県島原市で開催される島原大会の機運を盛り上げるため、大会ロゴマークのピンバッジを作成しました。主催者である島原市や共催団体(長崎県、国土交通省ほか)の職員の方々が着用し、市民の皆さんほか対外的に大会の開催をアピールしていきます。
- バッジは1,500個作成。主な配付先は次のとおり。  
火山都市国際会議島原大会実行委員、島原市職員、島原市議会議員、国土交通省雲仙復興事務所、長崎県島原振興局、九州大学地震火山観測研究センター、市内小中学校(校長先生、教頭先生)、島原市政記者クラブ
- 一般の方に対しては、雲仙岳災害記念館(島原市平成町)のミュージアムショップで販売中です。(1個420円)
- 大会ロゴマークは、  
緑息吹く平成新山と、湧水に映える島原城を配置。お城に咲き誇るさくらは、火山都市国際会議島原大会が日本を代表する大変意義ある大会であり、開催地では、訪れる皆様にさくらの花のような心の美しさでおもてなしをします、という意味を込めています。

### 火山都市国際会議 Cities on Volcanoes Conference

火山都市国際会議は、火山学分野の国際学術組織であるIAVCEI(国際火山学地球内部化学協会)がほぼ2年おきに開催している国際フォーラムです。この大会は、火山学だけではなく様々な分野の研究者や行政関係者、防災関係者が火山活動の社会に与える影響について議論する会議であり、危機管理、都市計画、社会学、心理学、教育なども含んだ連携作業を行うことにより、火山災害の軽減を目指しています。

同会議はこれまでにイタリア・ローマ市(1998)、ニュージーランド・オークランド市(2001)、ハワイ・ヒロ市(2003)、エクアドル・キト市(2006)で開催されており、第5回となる島原大会はアジアで初めての開催となります。世界約40ヶ国から600人以上の参加が見込まれています。

島原大会は、島原市および日本火山学会が主催し、国土交通省九州地方整備局・長崎県・南島原市・雲仙市・雲仙岳災害記念財団・九州大学理学研究院・東京大学地震研究所・IAVCEIが共催しています。